



「ここからマイクロ波が出てたんだね!」
 秘密はここ、ここは無線電力空間!

「ここからマイクロ波が出てたんだね!」

「ここは無線電力空間!」

「微弱なマイクロ波が飛んでるよ」

「たどをば!」
 ケイタイのバッテリーが超マッスル!

「そんな時、この部屋に入っただけで、あら不思議!」

「いつの間にかバッテリーが満タンに!」

「電気にして使うんだよ。」

「送ったエネルギーって、何に使えるの?」

「マイクロ波で送ったエネルギー」

「できた、できた。」

「今日の晩ご飯?」

「電子レンジがあれば、冷めたおかずもすぐに温まるし、やっぱり電子レンジって、便利だねえ。」

「でも、火もの、電子レンジで温まるの?」

「電子レンジで温まるの?」

「電子レンジで温まるの?」

「すごいね、もっとすごい、あるんだ。」

「それは...」

「これは、レクテナと言って、マイクロ波を我々が使う電気エネルギーに変換する装置だよ。」

「これさえあれば、いつでもどこでも充電できるようになるさ!」

「宇宙太陽発電所!」

「それはね、よく聞いてくれたネ!!」

「電子レンジの中では「マイクロ波」という電波が出ていて、このマイクロ波のエネルギーによって食べ物が加熱されているんだよ。」

「世の中にはいろいろな長さをもった電波が使われている。マイクロ波もその種類の一つ。例えば、テレビ放送に使われている電波の長さは、およそ3m~5mくらい。」

「じゃあ、マイクロ波は?」

「電子レンジの波の長さは、およそ30cmくらい。電子レンジの電波は約12cm。」

「電子レンジの波長の長さ」

「そのマイクロ波が今、新しいことに使われようとしているんだ。それが...」

「AMラジオ 100kHz 300m 周波数/波長」
 「FMラジオ 80MHz 3.75m 周波数/波長」
 「テレビ 100MHz~200MHz 1.5m~3m 周波数/波長」
 「携帯でんわ 1GHz 30cm 周波数/波長」
 「ETC 5.8GHz 5cm 周波数/波長」
 「衛星放送 12GHz 2.5cm 周波数/波長」
 「電子レンジ 2.45GHz 12cm 周波数/波長」

「未来の発電所の一つと言われている「宇宙太陽発電所」。宇宙に太陽電池を置いて、その電気エネルギーを地球へ送る夢の発電所だよ。」

「でも何万kmも電線を宇宙から地球へ引っ張るわけにはいかない。そこでマイクロ波送電が使われるんだ。宇宙から地球まで電波でエネルギーを送れば電線なんかいらないからね。」

「太陽光」
 「太陽電池パネル」
 「送電アンテナ」
 「マイクロ波」
 「宇宙太陽発電所」
 「巨大レクテナ」
 「電気」

「はい、電子レンジは箱の中に電波が閉じ込められているから、食べ物が温められるんだよ。」

「えっ?! じゃあ僕たちも毎日温められてるの?!」

「テレビや携帯電話は電波に情報を乗せているんだけど、電波そのものは元々エネルギーを送っているんだよ。」

「電子レンジで食べ物も温められるのも、電波がエネルギーを持っていての証拠なんだ。」

「送電!」

「送電?」

「送電?」

「もろもろの電波で送られてくるエネルギーは、手にとれない程度に薄く広く送るんだ。」

「夜でも送電」

「薄く広いマイクロ波」

「この発電所は、クリーンな太陽光エネルギーを24時間、365日利用できる、画期的な発電所なんだよ。」

「マイクロ波って本当にスゴイ!!」

「ほんと、スゴイ!!」

「ちゃんとした晩ご飯かした?」

「電子レンジで食べ物も温められるのも、電波がエネルギーを持っていての証拠なんだ。」

「電子レンジで食べ物も温められるのも、電波がエネルギーを持っていての証拠なんだ。」

「電子レンジで食べ物も温められるのも、電波がエネルギーを持っていての証拠なんだ。」

「電子レンジで食べ物も温められるのも、電波がエネルギーを持っていての証拠なんだ。」